PCT

## 国際調査報告

(法8条、法施行規則第40、41条) [PCT18条、PCT規則43、44]

出願人又は代理人 の書類記号 A6999PCT	今後の手続きについては、		/ISA/220 を参照すること。		
国際出願番号 PCT/JP2004/003634	国際出願日 (日.月.年) 18.03.	2004	優先日 (日.月.年) 25.03.2003		
出願人(氏名又は名称)	独立行政法人理化	学研究所			
国際調査機関が作成したこの国際調査この写しは国際事務局にも送付される。		PCT18条	e) の規定に従い出願人に送付する。		
この国際調査報告は、全部で 3	_ ページである。				
□ この調査報告に引用された先行打	技術文献の写しも添付されて	いる。			
1. 国際調査報告の基礎 a. 言語は、下記に示す場合を除く この国際調査機関に提出	ほか、この国際出願がされた 出された国際出願の翻訳文に	たものに基っ 基づき国際	づき国際調査を行った。 調査を行った。		
b. この国際出願は、ヌクレオ	チド又はアミノ酸配列を含	んでいる(第	ŘI欄参照)。 ■ ■ ■ ■ ■ ■ ■ ■ ■ ■ ■ ■ ■ ■ ■ ■ ■ ■ ■		
2. 請求の範囲の一部の調査が	できない(第Ⅱ欄参照)。	-			
3. □ 発明の単一性が欠如している(第Ⅲ欄参照)。					
4. 発明の名称は 区 出願	人が提出したものを承認す	る。	÷ x •		
□ 次に	示すように国際調査機関が	作成した。			
<u> </u>					
5. 要約は 🗙 出願	[人が提出したものを承認す	る。	·		
国際	欄に示されているように、 調査機関が作成した。出願  際調査機関に意見を提出す	人は、この	第47条(PCT規則38.2(b))の規定により 国際調査報告の発送の日から1カ月以内にこ きる。		
6. 図面に関して a. 要約書とともに公表される図は 第 4 図とする。 × 1	、 出願人が示したとおりである	5.			
. 🗆	出願人は図を示さなかったの	ので、国際課	<b>賃査機関が選択した。</b>		
	本図は発明の特徴を一層よ	く表している	らので、国際調査機関が選択した。		
b. 型 要約とともに公表される図	はない。				

A. 発明の属する分野の分類(国際特許分類(IPC))		
Int. Cl7 G01N21/35	·	
□ = 10 -+ -> \> \\ H7		
B. 調査を行った分野 調査を行った最小限資料(国際特許分類(IPC))		
Int. Cl' G01N21/00-21/61		
最小限資料以外の資料で調査を行った分野に含まれるもの		
日本国実用新案公報 1922-1996年		·
日本国公開実用新案公報 1971-2004年 日本国登録実用新案公報 1994-2004年		
日本国生成美州利泉公報 1996-2004年		
国際調査で使用した電子データベース(データベースの名称、	調査に使用した用語)	
JICSTファイル (JOIS), IEEE Xp	olore	
の 明治・上マル部以として 本部		
C. 関連すると認められる文献		関連する
カテゴリー* 引用文献名 及び一部の箇所が関連すると	きは、その関連する箇所の表示	請求の範囲の番号
X US 5939721 A (Lucent Techno	ologies Inc.) 1999.08.17	1-4, 6-7
<u>Y</u> 第5欄第22行-第6欄第40行,第9欄第25行	-第11欄第34行,第1-3,7-10図	<u>5</u>
& EP 841548 A & JP 10-153547 A		k 7
Y WO 97/46963 A (THE PERKIN 明細書第7頁第24行一第9頁第18行 & US 6015667 A & EP 0897568 A & JP 20		5
· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	1000.00.05	5
Y JP 1-242941 A (笹木敬司)		3
第2頁右上欄第8行一右下欄第15行	(ファミリーなし)	
区欄の続きにも文献が列挙されている。	□ パテントファミリーに関する別	紙を参照。
* 引用文献のカテゴリー 「A」特に関連のある文献ではなく、一般的技術水準を示すもの 「E」国際出願日前の出願または特許であるが、国際出願日以後に公表されたもの 「L」優先権主張に疑義を提起する文献又は他の文献の発行日若しくは他の特別な理由を確立するために引用する文献(理由を付す) 「O」口頭による開示、使用、展示等に言及する文献 「P」国際出願日前で、かつ優先権の主張の基礎となる出願	の日の後に公表された文献 「T」国際出願日又は優先日後に公表出願と矛盾するものではなく、の理解のために引用するもの 「X」特に関連のある文献であって、の新規性又は進歩性がないと考 「Y」特に関連のある文献であって、上の文献との、当業者にとってよって進歩性がないと考えられ 「&」同一パテントファミリー文献	発明の原理又は理論 当該文献のみで発明 えられるもの 当該文献と他の1以 自明である組合せに
国際調査を完了した日 07.04.2004	国際調査報告の発送日 20.4	. 2004
国際調査機関の名称及びあて先 日本国特許庁 (ISA/JP)	特許庁審査官 (権限のある職員) 高場 正光	2W 2910
郵便番号100-8915		
東京都千代田区霞が関三丁目4番3号	電話番号 03-3581-1101	内線 3290 

C (続き). 川用文献の カテゴリー*	関連すると認められる文献 引用文献名 及び一部の箇所が関連するときは、その関連する箇所の表示	関連する請求の範囲の番号
X	US 5623145 A (Lucent Technologies Inc.) 1997.08.22 全文,第1-8図 & JP 8-320254 A & EP 727671 A	1
	*	